

# NAKAMOZU イノベーションコア 創出コンソーシアム レポート

2026年3月  
第21号

NAKAMOZU イノベーションコア創出コンソーシアム  
(NICCC) 事務局

## 主なコンテンツ

1. シンポジウムの概要
2. 開催中の様子
3. 来場者アンケートの結果

## NAKAMOZU イノベーションコア 創出コンソーシアム 会員

- ・公立大学法人大阪 大阪公立大学
- ・堺商工会議所
- ・公益財団法人堺市産業振興センター
- ・株式会社さかい新事業創造センター
- ・株式会社池田泉州銀行
- ・ウイングアークNEX 株式会社
- ・株式会社エスポワール
- ・NTT 西日本株式会社 関西支店
- ・大阪ガス株式会社
- ・大阪市高速電気軌道株式会社
- ・大阪信用金庫
- ・一般社団法人SDGs オープンイノベーションプラットフォーム
- ・関西電力株式会社
- ・株式会社セントラルホーム
- ・大和ハウス工業株式会社 堺支社
- ・大和リース株式会社
- ・南海電気鉄道株式会社
- ・堺市

## 支援・協力機関

- ・株式会社日本政策金融公庫

令和8年2月2日

シンポジウム「なかもず未来会議」を開催しました！

## 1. シンポジウムの概要

- ・地域の現状や課題を共有し、イノベーションの力でより良い未来を育てるためのアイデアを語り合うシンポジウム「なかもず未来会議～イノベーションの力で新たな魅力を創ろう～」を開催しました。
- ・複数分野の大学教員がそれぞれの専門分野の知見をもとにトークセッションを行い、地域のポテンシャルを引き出す手法などについて多角的な議論が行われました。
- ・本シンポジウムで得られた気づきやつながりを活かし、今後もなかもずの活性化に向けたさまざまな企画を進めます。

### 〈開催概要〉

日 時：2026年2月2日（月）13：30～15：30

場 所：大阪公立大学 イノベーションアカデミー スマートエネルギー棟

登壇者：大阪公立大学 藤村 紀文 教授（ファシリテーター）

大阪公立大学 横井 修司 教授

大阪公立大学 松尾 薫 准教授

大阪公立大学 中川 智皓 准教授

時刻	内容
13：30	なかもずエリアの現状や課題の紹介
13：45	登壇者による自己紹介
14：05	トークセッション
15：00	ネットワーキング

### 〈チラシ〉



## 2. 開催中の様子

- 今回のイベントには、NICCC 会員やイノベーションアカデミー共創パートナーズ会員をはじめ、大学関係者、民間企業など約 40 名の方にご参加いただきました。
- はじめに、司会者より本事業におけるシンポジウムの位置付けについての説明が行われ、参加者と全体像を共有した上でシンポジウムがスタートしました。
- 続いて、事務局より NICCC の概要となかもずエリアの現状・課題について説明を行い、地域が抱える課題や検討すべきテーマを共有しました。
- 次に、ファシリテーターを務める藤村教授と登壇者の大学教員によりそれぞれ自己紹介が行われ、専門分野や今回の議論における視点が紹介されました。その後、本シンポジウムの中心となるトークセッションへ進み、議論が始まりました。
- トークセッションでは、ファシリテーターである藤村教授の進行のもと、横井教授、松尾准教授、中川准教授の 3 名が登壇し、意見交換が行われました。
- 最後に、ネットワーキングの時間に参加者同士が交流されていました。

### <登壇者からの主な意見>

登壇者	内容
横井教授	<ul style="list-style-type: none"> <li>都会での農業は「学び・副業・福祉・体験」として価値がある</li> <li>なかもずは若い世代・家族層が多く、習い事のニーズと親和性が高い</li> <li>駅前に仕事や学校の帰りに寄れる「習い事としての農業」があるといい</li> </ul>
松尾准教授	<ul style="list-style-type: none"> <li>駅前広場には多様な利用者が存在し、滞留ポテンシャルが高い</li> <li>なかもずには「滞留したくなる空間」に必要な要素が不足している</li> <li>「座れる場所」「快適性」「視覚的魅力」を増やすことが重要</li> </ul>
中川准教授	<ul style="list-style-type: none"> <li>通学路（駅～大学）は「やむを得ない移動」であり、自動運転化が向いている</li> <li>新しいモビリティには「怖い」「危ない」といった抵抗が大きい</li> <li>モビリティの体験型イベントを行い社会受容性を高めることが効果的</li> </ul>

## 3. 来場者アンケートの結果

- アンケートでは、「とても満足」「満足」と回答した参加者が 6 割を超え、全体として高い評価を得られました。
- 今後の取組参加意向についても、「非常に参加したい」「機会があれば参加したい」と答えた方が約 7 割を占めており、関心の高さが伺えました。
- 参加目的については、「なかもずエリアの現状や課題について知りたい」が最も多く、「地域活性化の具体的な事例やヒントを得たい」が次に多い結果となりました。
- なかもずエリアの活性化に向け、今回のシンポジウムを踏まえて、今後ワークショップの開催や実証実験の実施などを進める予定です。



### 【NICCC 事務局】

堺市 建築都市局 都市整備部  
拠点整備課

〒590-0078  
堺市堺区南瓦町 3 番 1 号 15 階  
TEL:072-340-0389  
FAX:072-228-7897



Facebook QR コード



Instagram QR コード



【なかもずエリアロゴ】

なかもずの頭文字の「n」と鳥の「百舌鳥」のくちばしの形状をモチーフにしたパーツが、複数のエリアや産学官を表現し、中央で交差するデザインはコラボレーションやコアを想起させます。

風をおこすファン（扇）をイメージさせる形状は、新たな風を起こすイノベーションも表現しています。